

木造都市研究会 木愛の会 主催

木の連歌

シリーズ part26

木造都市研究会「木愛の会」は、名古屋を拠点に研究会や見学会、提案など、木造都市実現に向けた様々な活動を行っています。会員募集中。

<http://www.kiainokai.net/>

木の連歌シリーズは、毎回異なる講師をお招きし、それぞれの木に対する思いや作品・研究をご紹介頂き、連歌方式で次の講師に引き継いでいく研究会です。初回は2015年の谷篤子氏（ウィーン工科大学）の講演にはじまり、前回の加藤昌之氏（株式会社加藤設計）など「木と建築」に関わる多くの優れた建築家や研究者、実務者をお招きしてきました。第26回目となる今回は、ランドスケープ・庭園を設計される岡田憲久氏（景観設計室タブラ・ラサ）に自然と人間に関する思いについてご講演頂きます。学生・会員外の方を含め、是非ご参加ください。

2026年3月26日（木）
18:00～19:30

名古屋市立大学 北千種キャンパス
芸工棟 1階M101教室

参加申込先 GoogleFormsより
<https://forms.gle/usyGDM5zeWShFUvd6>

定員30名
(申込期限：3月23日)
参加費 学生・会員：無料
一般：1000円



景観設計室 タブラ・ラサ 主宰
名古屋造形大学 名誉教授

岡田 憲久氏

再び自然と共にあるために
庭からの読み解き

タイムスケジュール
17:30 受付開始
18:00～19:00 岡田氏 講演会
19:00～19:30 ディスカッション

人は自然の中の一員であることと、自然からあまりにも離れた存在であることの両面性を持つ。その相克を解消するために人は自然との関係の場を様々に持ってきた。自然を司る神との直接的対話の場「ニハ」。里地・里山、都市における自然と共であろうとする暮らしの文化の場「には」。造景空間としての「庭」。再び自然と共にあるための視点を、日本独特の人間と自然の関係の文化から読み解こうとする試みのお話。

